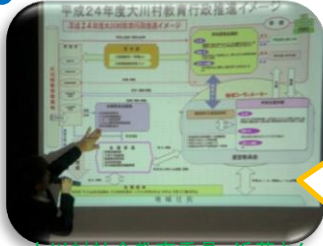


中央地区社会教育委員連絡協議会研修会が10月11日(水)に大川村で開催され、37名の参加がありました。この会は中央地区内市町村(大川村・本山町・大豊町・南国市・高知市・いの町)の社会教育委員が一堂に会し、社会教育委員の任務に関する研修を深めるとともに、会員相互の連携を密にし、社会教育の振興に寄与することを目的とした会です。今回は大川村社会教育委員・青年団の活動紹介、大川村コミュニティスクールの取組みについての研修が行われました。



大川村社会教育委員 近藤さん

大川村社会教育委員の活動 (教育委員会と連携した色々な事業) 「村勢フォーラム」

村民の話合いの場となるようH21年度から企画・運営の中心となって活動している。H24年度も「500人の村を繋ぐ、次の世代へ」というテーマで開催する。

社会教育団体への予算配当

社会教育委員がヒアリングを行い、どんな思いでどのような活動をしているかを評価して配当を決める。



大川村青年団長 和田さん

大川村青年団の取組 (現在28名で活動)

「村民祭」: 青年団が主体となりアイデアを出し合って開催している。
「謝肉祭」: 青年団長が実行委員長を務め、小中学生と一緒に看板作りも行っている。
地域の行事: 「敬老会」や「村民運動会」、「村内美化活動」など行っている。

自分たちで考えてイベントを実施することで意識が変わってきました。反省会を行い次回に繋げていくことができています。その他にも「フェスティバル土佐ふるさと祭り」に参加したり、県内団体との交流も行ったりしています。今後も新しいイベントを実施し、大川村の良さを広めていけるような活動を行っていきたく考えています。



大川小・中学校 黒瀬校長

大川村コミュニティスクールの取組

H23年2月に準備委員会を立ち上げ、研修会や視察研修を含め5回の実行委員会を行った。H24年度からは12名の委員構成でスタートしている。

「将来の大川村を担う人材の育成」を目指して、10年先を見据え取組んでいる。三つの部会(特産物生産部会・総合的学習部会・保小中連携部会)を立ち上げ、実際に汗をかいて活動してみようということで全委員・教職員が参加している。

地域の文化の伝承として「花取り太刀踊り」を保存会の方々に指導をいただいている。

この写真は、小学生が保存会の人に教えてもらっている様子です。



学校と地域が一体となり、子どもの成長を村全体で見守る取組を行っています。

謝肉祭で保存会の人と一緒に実演したよ!



取組についての発表後、参加者から「青年団活動について」、「コミュニティスクールと行政の関わりについて」、「山村留学について」等の質問が出されました。

どの地域でも少子・高齢化という状況は変わらず、その中で地域の活性化に向けてのコミュニティスクールの取組に高い関心が感じられました。今回の大川村の取組は参考になる部分がたくさんあった研修だったと思います。この様に、各市町村の取組に学ぶべきことは沢山あります。今後もこういった研修を行い、各地域の活動に活かされるよう願っております。



図書館をもたない市町村には、読書活動支援員が配置され、読書活動を推進しています。その活動の一つである「親子で読書を楽しむ日」や読書に関連のある取組について紹介します。



仁淀川町

10月28日
「家族で本に親しむ日」
講師としてえほんの店「ココ・サン」を招き、読み聞かせ講演会とおはなし会、職員によるおやつ作りやしおり作りが行われました。



大豊町

11月3日
「絵本読み聞かせ広場」
町民文化祭での紙芝居と国際交流員マックス先生の英語で読み聞かせが行われ、多くの親子が参加していました。
英語での絵本の読み聞かせを聞く機会は少なく、保護者も興味をもって聞いていました。



津野町

11月4日
「親子で本を楽しむ日」
「カラー紙粘土で作ろう！絵本のキャラクター」に多くの親子が参加し、協力して楽しそうにキャラクターを作り上げていました。出来上がったキャラクターをラッピングしてもらい、嬉しそうに持ち帰っている姿が印象的でした。



四万十町

11月18日
高知子育て応援団のRKC高知放送丸山修アナウンサーによる「本の読み聞かせ」や、NPO法人高知市子ども劇場の3名の方の協力による「人形作りワークショップ」が行われました。出来上がった指人形で嬉しそうに遊ぶ子どもの姿が見られました。場所は違いましたが、しおり作りも行われていました。



梶原町

11月3日 「親子で本を楽しむ日」
お楽しみ会でしおり作りや読書クイズ、絵本コーナーでの貸出等が行われました。また、おはなしの時間には、フリーアナウンサーの貞岡美樹さん・長谷川恵子さんによる絵本の読み聞かせが行われ、多くの親子が参加していました。



大川村

11月24日
「人形作りワークショップ」「移動図書」
NPO法人高知市子ども劇場の方々による人形作りワークショップで小中学生が入り混じって人形づくりに取り組む姿や、移動図書で本を手に取り、熱心に読み入る姿が見られました。



中土佐町

12月1日

「親子で楽しむ民話の朗読会」

土佐民話でおなじみの、市原麟太郎先生による「語りと紙芝居」や、読遊会のみなさんによる「わらべ歌あそび」が行われました。参加した方はクイズやわらべ歌遊びで大変盛り上がり、楽しそうに過ごしていました。



その他に、越知町、いの町でも「親子で読書を楽しむ日」に関連するイベントが計画されています。各市町村の活動に参加させていただき、親子で本の読み聞かせに参加したり、一つの作品を仕上げたりしている中で、ほんとうに楽しそうな笑顔を見ることができました。保護者や周りの大人が、読書に親しむことや読書を推進する活動に関わっていくことが、子どもを取り巻く環境として大事だということを感じました。

自分自身も数年前に「水滸伝」を読み始めたのですが、すぐにはまってしまいあっという間に19巻を読み終えていました。それまで読書など殆どしていなかったのですが、現在は「ここ 食卓から始まる生教育」(内田美智子・佐藤剛史著、西日本新聞社発行)を薦められ読んでいます。

10月26日(木)に、「第27回高知県連合婦人会スポーツ大会」が、「心と体の健康づくりとお互いの親睦をはかり、地域活動の活性化を目指して、楽しみながら笑顔の輪を広げ、絆を結びあうこと」を目的に、高知県立春野総合運動公園体育館で行われました。県下から7ブロック17チームの参加があり、白熱した競技や、和やかな雰囲気の中で歌謡体操などが行われ、各地区の団結力を発揮していました。毎年、多くの方々の参加で盛り上がりつつあるスポーツ大会ですが、以前は約800名の参加があったそうです。ここ数年は各地区の会員の減少もあり、今年度は約600名の参加でした。参加されている方々は非常に元気で、圧倒されるほどのパワーを感じるとともに、各地域活動の活性化に活躍されているのも頷ける大会でした。



力強い選手宣誓の後、聖火点灯が行われ競技が開始されました。親睦をはかる大会とはいえながら、勝負にこだわった真剣な勝負が行われていました。競技結果は

- | | |
|----------|----------|
| チーム対抗リレー | 平和の泉 |
| 1位高岡Bチーム | 1位土長Aチーム |
| 2位安芸Cチーム | 2位幡多Cチーム |
| 3位高岡Cチーム | 3位高知Aチーム |
- でした。



11月29日(木)には、「第57回高知県婦人大会」が高知市文化プラザ「かるぽーと」で開催されました。高知県金融広報委員会会長 野原 強 氏による「日本銀行と高知県」と、生活経済ジャーナリスト 和泉 昭子 氏による「賢い生活防衛術」の講演が行われました。また、県警音楽隊演奏や、各地区婦人会による舞踊などのアトラクションもあり、明るい雰囲気の会でした。

担当の一言

今回の紙面の作成にあたり、情報提供ありがとうございました。また、各市町村にお邪魔させていただき、様々な取組を拝見することができました。

今後も様々な取組について紹介していきます。引き続き情報提供等よろしくお願い致します。

連絡先: 高知県教育委員会事務局中部教育事務所
TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167
E-mail 310305@ken.pref.kochi.lg.jp
担当: 中嶋・中越